

あの日事 の知

鳥取県知事

平井伸治



◎近畿ブロック知事会議開催

六月二日(火)

鳥取市青谷町で「第八十六回近畿ブロック知事会議」が開催された。鳥取県は昨年六月に同会へ加入したばかり。開催地となったのは初めてだ。



開催県として挨拶。
「ようこそ鳥取県因幡の国へ」

近畿二府七県の知事においていた
だき、高速道路網などを柱とした「広
域関西インフラブランドデザイン」
の実現や、国直轄事業負担金につい
ての議論、同会の今後の運営の在り
方などについて活発な論戦が繰り広
げられた。

鳥取県からは「環境と調和した社
会システム構築に関する緊急アピー
ル」を提唱した。近畿は京都議定書
が生まれた土地柄もあり、それぞ
れの府県で独自の取組みを進めて
いる。鳥取県でも「鳥取方式の芝生
化」が進められているほか、緊急プ
ロジェクトチームによる「鳥取発グ
リーンニューディール」を実行する
こととしている。年末のコペンハー
ゲンでの締約国会議を控え、CO2
削減にどう取り組むか、結束して

やっていこうというものだ。この「鳥
取宣言」とも言うべき提案は異論な
く採択いただいた。

今年度中に鳥取自動車道は開通
し、山陰自動車道も順次建設中。今
月末には、境港と韓国江原道東海、
ロシア・ウラジオストクを結ぶ定期
貨客船航路も就航する。「大交流時
代」を迎え、関西圏との協調はま
ます重要な意味を持つ。グレーター
関西の一員として、鳥取県を北東
アジアに向かって開かれた「ゲート
ウェイ」と位置付け、その役割を果
たしていきたい。

◎中海・宍道湖沿岸一斉清掃に参加

六月十四日(日)

鳥取・鳥根両県にまたがり、コハ



溝口知事や地元の方々と
ゴミ拾いに勤しんだ

クチョウなど水鳥の生息地として国
際的な重要性を持つ汽水湖「中海」。
平成十七年のラムサール条約湿地登
録を記念し、毎年六月の環境月間に
は、山陰両県及び関係自治体、地域
住民の協働により、中海・宍道湖沿
岸の一斉清掃が実施されている。

当日の今日、沿岸七市町の各会場
に、合わせて七千四百人以上もの
人々が集まった。私も朝から境港
市の会場へ赴き、溝口鳥根県知事御
夫妻、地元の方々とともに、中海
干拓地西側護岸のゴミ集めに取り掛
かった。木切れなどの自然物のほ
か、空カン・ペットボトルなど、ゴ
ミの量は想像以上。全会場合わせて
二十八tものゴミが回収された。

年々参加者が増え、環境美化活動
の輪が着実に広がっている。環境保
全や賢明な利用の取組みを、山陰全
体で知恵を出し合い進めていくこと
が一層大切になる。行政に県境は
あっても、環境に県境はない。



境港・東海・ウラジオストクを結ぶ、西日本唯一の国際定期貨客船「イースタン・ドリーム号」(DBSクルーズフェリー(株))。インターネットゾーンやナイトクラブなど設備も充実。旅客定員 約458名・貨物積載 約130TEU

◎国際定期貨客船が正式就航

六月三十日(火)

日本海沿岸の各国・各地域が追い続けてきた「夢」―昨晩韓国東海港を出航した国際定期貨客船「イースタン・ドリーム号」が、午前九時を回ったところ、境港にその船体を現した。

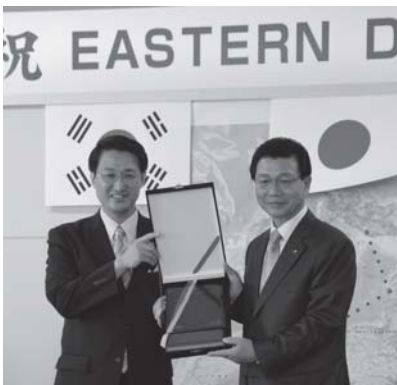
岸壁に接岸した同船タラップから、金振航江原道知事やDBSクルーズフェリー社の鄭泳太社長を始め、百六十名以上の乗客が次々と降

り立った。県議会や関係自治体、地元経済界などの皆さんとともに迎え、就航実現の喜びを分かち合った。

境港国際旅客ターミナルにおいて初入港セレモニー。韓国語で歓迎の挨拶をさせていただいた後、この航路を経済・文化・観光面で活用し、共に地域の発展を目指していかうと呼びかけた。また、金知事に対し、鳥取県と江原道との交流推進、航路就航への多大な尽力に感謝の意を表して、第一号の「名誉県民顕彰」を贈らせていただいた。

米子市内で行ったレセプションでは、駆けつけていただいたベールイ・ミハイル在日ロシア連邦大使や、ウラジオストクのズブリツキー副市長からも、日韓口の人的交流の発展や経済効果などに大きな期待の言葉が寄せられた。

新航路開設が具体的に持ち上がった



名誉県民顕彰を金知事へ贈呈

たのは一昨年。多くのかたがたの尽力によりそれが実現した。数十年來、交流を閉ざす存在だった目の前の海が、これからは絆を深めるための海となる。

七月一日(水)

境港市の「夢みなとタワー」で、航路就航の記念式典を盛大に行った。国内外から多くの関係者が出席する中、境港市美哉幼稚園の園児が元気な踊りで祝福し、式典に花を添えた。子どもたちのためにもこれからの正念場と、国を越えて決意を確かめ合った。

早速、この航路を使った貿易が始まる。再び東海に向けて出航するイースタン・ドリーム号に、県内企業が製造する電子部品や日本酒、廃ガラスをリサイクルした砂利などが積み込まれた。これらは韓国に輸出され、さらに七月十二日の便では、ロシア向けに県内産スイカが積み込まれる。

韓国では明日、歓迎式典が行われる。私も出席するため、イースタン・ドリーム号に乗船した。式典で韓国の皆さんに呼びかけよう。「鳥取県とともに、未来に向かって前進しましょう」と。



たくさんの人々に見送られつつ東海へ



記念式典で関係者の皆さん、子どもたちとともにテープカット